

2022年2月25日

## 原料費調整制度に基づくガス料金の調整について (2022年4月検針分)

当社では、本日確定した2021年11月から2022年1月の平均原料価格に基づき、2022年4月検針分のガス料金（単位料金）を、2022年3月検針分に比べ1 m<sup>3</sup>あたり2.95円上方に調整させていただくことになりましたので、お知らせいたします。これにより、モデル家庭（1ヶ月あたり27 m<sup>3</sup>ご使用）への影響は、2022年3月検針分と比較して、80円の引き上げとなります。

### ○供給約款料金表<sup>※1</sup>

	使用量区分	基本料金	単位料金		影響額
			2022年4月	2022年3月	
料金表A	0 m <sup>3</sup> から15 m <sup>3</sup> まで	946.00円	217.59円/m <sup>3</sup>	214.64円/m <sup>3</sup>	+2.95円/m <sup>3</sup>
料金表B	15 m <sup>3</sup> を超え50 m <sup>3</sup> まで	1,454.20円	183.71円/m <sup>3</sup>	180.76円/m <sup>3</sup>	
料金表C	50 m <sup>3</sup> を超え200 m <sup>3</sup> まで	2,013.00円	172.53円/m <sup>3</sup>	169.58円/m <sup>3</sup>	
料金表D	200 m <sup>3</sup> を超え800 m <sup>3</sup> まで	7,700.00円	144.10円/m <sup>3</sup>	141.15円/m <sup>3</sup>	
料金表E	800 m <sup>3</sup> を超える場合	9,900.00円	141.35円/m <sup>3</sup>	138.40円/m <sup>3</sup>	

(金額は税込み)

※1：各月のご使用量に応じて、A～Eの各料金が適用されます。

### ○モデル家庭<sup>※</sup>における影響額

1ヶ月の ガスご使用量	2022年4月の単位料金 によるガス料金	2022年3月の単位料金 によるガス料金	影響額
27 m <sup>3</sup>	6,414円	6,334円	+80円

(金額は税込み)

※：モデル家庭とは、厨房および給湯にガスをお使いいただいているお客さまで、月間のご使用量を27 m<sup>3</sup>で設定しています。

以上

## <参考資料>

### 1. 平均原料価格について

<平均原料価格の算出式>

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \left( \frac{83,760 \text{ 円/トン}}{\text{LNG 平均価格}} \times 0.9503 \right) + \left( \frac{92,100 \text{ 円/トン}}{\text{プロパン平均価格}} \times 0.0546 \right) \\ &= \underline{84,630 \text{ 円/トン}} \quad (10 \text{ 円未満の端数を四捨五入}) \end{aligned}$$

#### ■原料価格の動向

	2021年11月～2022年1月 〈2022年4月分ガス料金に反映〉	2021年10月～2021年12月 〈2022年3月分ガス料金に反映〉	基準平均原料価格
平均原料価格	84,630 円/トン	81,460 円/トン	66,310 円/トン
LNG平均価格	83,760 円/トン	80,420 円/トン	
プロパン平均価格	92,100 円/トン	92,220 円/トン	

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= 84,630 \text{ 円} \quad - \quad 66,310 \text{ 円} \\ &\quad \text{平均原料価格} \quad \quad \quad \text{基準平均原料価格} \\ &= \underline{18,300 \text{ 円}} \quad (100 \text{ 円未満の端数切捨て}) \end{aligned}$$

### 2. 単位料金の調整について

<単位料金の算出式>

$$\text{単位料金} = \text{基準単位料金} + \text{単位料金調整額}$$

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= 0.084^{(\ast 1)} \times \frac{18,300 \text{ 円/100 円}}{\text{原料価格変動額}} \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= \underline{16.90 \text{ 円}} \quad (\text{小数点第3位以下の端数切り捨て}) \end{aligned}$$

	基準単位料金	単位料金調整額	2022年4月の単位料金(税込)
料金表A	200.69 円/m <sup>3</sup>	16.9 円/m <sup>3</sup>	217.59 円/m <sup>3</sup>
料金表B	166.81 円/m <sup>3</sup>		183.71 円/m <sup>3</sup>
料金表C	155.63 円/m <sup>3</sup>		172.53 円/m <sup>3</sup>
料金表D	127.20 円/m <sup>3</sup>		144.10 円/m <sup>3</sup>
料金表E	124.45 円/m <sup>3</sup>		141.35 円/m <sup>3</sup>

※1 原料価格変動額 100 円/トンにつき、1 m<sup>3</sup>あたり 0.084 円調整します。

#### 【原料費調整制度の概要】

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(1 m<sup>3</sup>あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 供給約款に定める「基準平均原料価格」と「平均原料価格(適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月間におけるLNGおよびプロパンの輸入価格より算定)」を比較して単位料金を見直します。原料価格変動額 100 円につき、単位料金を 1 m<sup>3</sup>あたり 0.084 円調整します。
- ・ 料金の大幅な変動を避けるため、平均原料価格が供給約款に定める上限値(基準平均原料価格の 1.6 倍)を超えた場合は、上限値を平均原料価格とみなして調整を行います。

$$\text{ガス料金} = \text{基本料金} + \text{単位料金} \times \text{ガスご使用}$$

↑  
原料価格の変動により毎月調整します

以上